



## 2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社ピアズ 上場取引所 東  
コード番号 7066 URL <https://peers.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑野 隆司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部部長 (氏名) 栗田 智代 TEL 03-6811-2211  
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年9月期第2四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	3,068	6.5	409	57.4	350	85.8	365	107.1	327	15.3
2023年9月期第2四半期	2,881	93.2	259	—	188	—	176	—	283	—

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 327百万円 (35.1%) 2023年9月期第2四半期 242百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	34.28	32.45
2023年9月期第2四半期	31.30	30.10

(注)

- 2023年9月期第3四半期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2023年9月期第2四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額によっております。
- 当社は、2023年7月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算出しております。
- EBITDA=営業利益+減価償却費+のれんの償却額

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	4,290	2,616	2,616	2,354	61.0
2023年9月期	4,749	2,355	2,355	2,354	49.6

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 2,615百万円 2023年9月期 2,354百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	8.34	8.34
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2024年9月期の配当予想につきましては、現時点で未定としております。

### 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	17.3	624	9.3	500	17.3	470	15.2	470	47.2	49.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれんの償却額

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）株式会社ウィル（吸収合併による解散）  
（注）詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期2Q	10,006,400株	2023年9月期	9,974,000株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	432,420株	2023年9月期	432,420株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期2Q	9,543,167株	2023年9月期2Q	9,066,980株

（注）当社は、2023年7月21日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(追加情報)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束により、外出需要やインバウンド需要が増加し、経済・社会活動の正常化が進んだことなどから、景気回復の動きが見られました。しかしながら、世界的な金融引締め等が続く中で海外景気の下振れが国内景気に及ぼすリスクに加え、急速な円安進行による資源価格の高騰等による影響など、今後の先行きは依然として不透明な状態となっております。

このような情勢の中、当社グループは、「いつかの未来を、いつもの日々に〜New Normal Acceleration」をテーマに掲げ、新たなモノ・コトを積極的に活用していくための活動を社会に広げていくことに取り組んでおります。当社は設立以来、通信業界をメインステージにセールスプロモーション事業を展開してまいりましたが、オンライン接客事業による展開領域の拡大と、AIボーディング事業を含む新規事業の立上げなど、中長期的な成長に向けた事業ポートフォリオの強化を行っております。

当連結会計期間においては、オンライン接客センターなどのオンライン接客事業領域の堅調な拡大推進とともに、コスト意識を強化したことから、営業利益が大幅に増加しました。加えて、AIボーディング事業においても、AIロールプレイングシステム「mimik」を中心にトレーニングやリスクリング領域へより注力し、着実に新規顧客開拓が進んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,068百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益350百万円（前年同期比85.8%増）、経常利益365百万円（前年同期比107.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は327百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

なお、当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,165百万円となり、前連結会計年度末に比べ499百万円減少いたしました。これは、主に現金及び預金が496百万円減少したことによるものであります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,125百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加いたしました。これは、主に投資有価証券が58百万円、敷金が34百万円増加した一方、のれんが21百万円、建物（純額）が18百万円減少したことによるものであります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は859百万円となり、前連結会計年度末に比べ270百万円減少いたしました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が240百万円減少したことによるものであります。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は813百万円となり、前連結会計年度末に比べ450百万円減少いたしました。これは、主に長期借入金が436百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,616百万円となり前連結会計年度末に比べ261百万円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が247百万円増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より3百万円増加し、2,275百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は401百万円（前年同期は382百万円の収入）となりました。資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益348百万円、減価償却費38百万円、棚卸資産の減少額27百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は360百万円(前年同期は412百万円の支出)となりました。資金減少の主な要因は、定期預金の払戻による収入500百万円によるものであります。一方、資金減少の主な要因は、投資有価証券の取得による支出59百万円、敷金の差入れによる支出47百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は758百万円(前年同期は694千円の収入)となりました。資金減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出1,177百万円、配当金の支払額82百万円等によるものであります。一方、資金増加の主な要因は、長期借入れによる収入500百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月13日公表の業績予想に修正はありません。

なお、当該業績予想につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,771,980	2,275,787
売掛金	681,842	696,805
契約資産	3,387	5,520
電子記録債権	31,118	29,808
商品及び製品	35,757	16,690
原材料	3,698	5,418
その他	149,747	148,287
貸倒引当金	△12,618	△13,237
流動資産合計	3,664,915	3,165,082
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	91,052	72,796
工具、器具及び備品（純額）	7,979	7,523
リース資産（純額）	40,261	35,214
建設仮勘定	-	25,269
その他（純額）	348	173
有形固定資産合計	139,640	140,976
無形固定資産		
ソフトウェア	110,412	94,034
のれん	190,934	169,568
顧客関連資産	108,166	104,479
その他	9,130	12,347
無形固定資産合計	418,644	380,428
投資その他の資産		
投資有価証券	213,283	271,730
長期貸付金	158,770	143,709
繰延税金資産	165,619	163,400
敷金	63,578	97,711
保険積立金	37,084	38,037
その他	26,892	27,308
貸倒引当金	△138,749	△138,131
投資その他の資産合計	526,479	603,765
固定資産合計	1,084,765	1,125,171
資産合計	4,749,681	4,290,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	322,280	329,256
1年内返済予定の長期借入金	440,608	200,016
リース債務	23,825	22,895
未払金	66,343	51,012
未払費用	175,948	140,845
未払法人税等	3,166	20,904
預り金	16,209	30,263
賞与引当金	10,001	2,247
その他	71,547	62,304
流動負債合計	1,129,930	859,746
固定負債		
長期借入金	1,136,924	699,976
リース債務	79,260	68,350
繰延税金負債	36,787	35,533
その他	11,540	9,962
固定負債合計	1,264,512	813,822
負債合計	2,394,443	1,673,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	67,749	74,443
資本剰余金	989,960	996,654
利益剰余金	1,476,023	1,723,694
自己株式	△179,078	△179,078
株主資本合計	2,354,653	2,615,712
新株予約権	584	971
非支配株主持分	-	-
純資産合計	2,355,238	2,616,684
負債純資産合計	4,749,681	4,290,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,881,078	3,068,393
売上原価	2,065,664	2,167,515
売上総利益	815,414	900,878
販売費及び一般管理費	626,577	549,952
営業利益	188,837	350,925
営業外収益		
受取利息	1,170	1,240
受取配当金	-	285
助成金収入	570	-
貸倒引当金戻入額	3,498	-
投資事業組合運用益	4,271	-
投資有価証券売却益	-	26,544
その他	3,144	308
営業外収益合計	12,655	28,379
営業外費用		
支払利息	17,537	11,033
為替差損	4,565	64
投資事業組合運用損	-	554
訴訟関連費用	-	2,425
その他	3,020	4
営業外費用合計	25,123	14,081
経常利益	176,369	365,223
特別利益		
リース解約益	3,854	-
関係会社株式売却益	135,632	-
特別利益合計	139,487	-
特別損失		
リース解約損	2,020	-
貸倒引当金繰入額	125,632	-
減損損失	-	5,100
事務所移転費用	-	11,127
特別損失合計	127,653	16,227
税金等調整前四半期純利益	188,203	348,996
法人税、住民税及び事業税	1,547	20,931
法人税等調整額	△97,148	913
法人税等合計	△95,600	21,845
四半期純利益	283,804	327,151
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	283,804	327,151

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	283,804	327,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,653	-
その他の包括利益合計	△41,653	-
四半期包括利益	242,150	327,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,150	327,151
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	188,203	348,996
減価償却費	49,746	38,570
のれん償却額	21,366	21,366
貸倒引当金の増減額(△は減少)	122,134	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,816	△7,754
助成金収入	△570	-
受取利息及び受取配当金	△1,170	△1,526
支払利息	17,537	11,033
為替差損益(△は益)	4,565	64
リース解約益	△3,854	-
投資事業組合運用損益(△は益)	△4,271	554
関係会社株式売却損益(△は益)	△135,632	-
減損損失	-	5,100
事務所移転費用	-	11,127
売上債権の増減額(△は増加)	117,067	△13,652
契約資産の増減額(△は増加)	126	△2,133
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,837	27,641
未収入金の増減額(△は増加)	△920	15
前払費用の増減額(△は増加)	10,756	5,953
仕入債務の増減額(△は減少)	38,519	6,976
未払金の増減額(△は減少)	△29,383	△15,396
未払費用の増減額(△は減少)	△52,543	△35,103
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,237	1,230
未収消費税等の増減額(△は増加)	△24	8,692
前受金の増減額(△は減少)	320	△11,037
前受収益の増減額(△は減少)	738	△1,578
前渡金の増減額(△は増加)	7,713	△3,490
その他	△15,663	16,177
小計	362,978	411,828
利息及び配当金の受取額	1,170	1,526
利息の支払額	△19,994	△8,571
法人税等の還付額	41,551	-
法人税等の支払額	△3,765	△3,192
助成金の受取額	570	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,511	401,589
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	500,008
投資有価証券の取得による支出	△365,288	△59,785
投資有価証券の売却による収入	-	784
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	10,000	-
有形固定資産の取得による支出	△14,255	△26,802
無形固定資産の取得による支出	△53,784	△10,787
敷金の差入による支出	-	△47,051
敷金の回収による収入	230	1,791
保険積立金の積立による支出	△1,755	△952
貸付けによる支出	-	△13,422
貸付金の回収による収入	11,898	16,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△412,954	360,281

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△149,500	△1,177,540
リース債務の返済による支出	△38,184	△11,839
株式の発行による収入	-	13,380
配当金の支払額	△12,157	△82,451
新株予約権の発行による収入	137	395
その他	400	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	694	△758,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,565	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△34,313	3,815
現金及び現金同等物の期首残高	1,845,979	2,271,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,811,665	2,275,787

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間において、当社を吸収合併存続会社とし、当社の連結子会社である株式会社ウィル及び同社の子会社である株式会社ウィルコーポレーションを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、株式会社ウィル及び株式会社ウィルコーポレーションを連結の範囲より除外しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループはコンサルティング事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報に係る記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。